

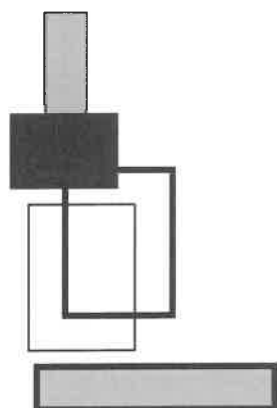


Matsuyama
Business
College



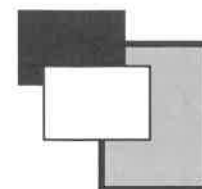
松山デザイナー専門学校

ファッションビューティ研究科



2023 年度

シラバス



名前

※一年間、各自保管すること

令和5年度

服飾家政専門課程 ファッションビューティ研究科

必修/ 選択	区分	科目名	種別	担当者	ファッションビューティ 研究科		
					前期	後期	単位
必修							
		服飾造形Ⅹ	実習	大野	210		7
		クリエイションデザインⅠ	実習	大木	60		2
		舞台衣装Ⅰ	実習	川上	30		1
		デジタル演習	実習	野田	30		1
		パターンメイキングⅢ	講義	大野	60		4
		服飾造形Ⅹ	実習	大野		150	5
		クリエイションデザインⅡ	実習	大木		60	2
		舞台衣装Ⅱ	実習	川上		30	1
		パターンメイキングⅣ	講義	野口		60	4
		卒業研究Ⅱ	実習	大野		150	5
必修科目 合計					390	450	32
年間合計時間/単位数					840		32
総時間/単位数					840		32

- 1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	服飾造形区			時間数 (コマ数)	210 (105)	単位数	7
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	服作りに関するさらなる知識・技術の習得と、オリジナリティあふれる作品制作。						
学習到達 目標	オリジナル作品を制作する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～8			型紙作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
9～24	プレタポルテ作品(25コマ)		裁断・縫製				
24～25			スタイリング、撮影				
26～30			型紙作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
31～73	Fショー作品制作(50コマ) 学園祭7月		裁断・縫製				
74～75			スタイリング、撮影				
76～80			型紙作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
81～103	ジャケット(30コマ) マニピュレーション		裁断・縫製				
104～105			スタイリング、撮影				
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性30%、縫製技術20%、完成度30%、スピード20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。						

授業科目	クリエイションデザイン I			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大木 美代子			時間割	金曜 1-2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	決められたテーマから着想して、多様なデザイン展開と表現方法を学ぶ。						
学習到達 目標	テーマを的確にとらえて、オリジナリティのあるデザイン表現が出来るようになる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの経験					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッションイラストのふり 返り	設定したテーマで描く					
2~29	実践する	コンテスト作品の作成 着想→デザイン→発表(6~7テーマ)					
30	デザイン画のまとめ	半年の自身の作品を振り返り、今後の目標を確認する					
使用テキスト 教材・教具	コピックチャオ、色鉛筆、水性顔料ペン、絵具、ドローイング帳						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	デザイン力40%、発想力40%、提出物20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	舞台衣装 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	川上 須賀代			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	舞台衣装デザインに必要な表現力と発想力を身につけ、機能的な衣装制作を目指す。						
学習到達 目標	基本原型からパターン展開し、舞台衣装に対応できるオリジナルパターンと制作ができるようになる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 コスチュームクリエイターとして活動している教員が、基礎的な舞台衣装制作の知識と技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	衣装概論・製図	衣装制作に必要な製図方法					
2	立体検証	袖応用:袖山の検証、応用					
3	立体検証	デザイン画を読み取り、製図方法を立体で検証					
4	衣装デザイン画	衣装デザイン画(4体)、授業中にリサーチプレゼンとデザイン画確認					
5	プレゼンテーション	アイドルに向けたプレゼンテーション					
6	最終衣装デザイン画	修正を行い、衣装デザインを完成させる/採寸方法指導					
7	採寸	アイドルグループの採寸を行う					
8	衣装パターン①	アイドルサイズでパターン制作準備					
9~11	衣装パターン②	アイドルサイズでパターン制作					
12	トワル制作	シーチングを用いてトワル制作(ミシン)					
13~14	仮縫い縫いフィッティング	アイドルに向けて仮縫いフィッティング					
15	衣装パターン③	パターン修正箇所の確認、修正方法					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題80%(縫製、完成度)、プレゼンテーション20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	デジタル演習			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	水曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	就活を中心にした授業内容でポートフォリオや作品集、ブランド企画などをテーマに指導。						
学習到達 目標	自己アピールと作品のプレゼン内容を明確に表現できる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	ポートフォリオ	ポートフォリオとは					
3～4	〃	ポートフォリオの作成					
5～6	〃	ポートフォリオの作成					
7～8	〃	ポートフォリオの作成					
9～10	商品企画	テーマからデザインを考えマップを制作					
11～12	〃	テーマからデザインを考えマップを制作					
13～14	〃	テーマからデザインを考えマップを制作					
15	修了テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%、修了テスト40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキングⅢ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	企業のパターンメーカーとして対応できる工業用パターンに関する専門知識・技術、グレーディング、ドレーピング技術の習得。						
学習到達 目標	パターンメイキング2級の実力に匹敵した知識と技術の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	パターンメイキング理論	アパレル企業のパターンメイキング、人体とパターン、体型の理解 他					
3	ドレーピング	ドレーピングの知識					
4～6	作品①	ウエスト切り替えワンピース(プリンセスライン)					
7～10	ファーストパターンメイ キング	ジャケットパターンメイキング(縮尺)(模擬テスト)					
11～13	ドレーピング 作品②	コレクション雑誌から読み解きドレーピングに落とし込む					
14	工業用パターンメイ キング	工業パターンメイキングの知識					
15～17	作品③	工業用パターンメイキング作成(模擬テスト)					
18～19	素材	素材とパターンメイキング					
20～22	ドレーピング 作品③	コレクション雑誌から読み解きドレーピングに落とし込む					
23～26	グレーディング	グレーディングとは、グレーディング実技(模擬テスト)					
27～29	ドレーピング作品 ④	オリジナルデザインのドレーピングによるパターン作成					
30	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	オリジナルプリント、シーティング他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト20%、ドレーピング作品40%、修了テスト40%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形Ⅹ			時間数 (コマ数)	150 (75)	単位数	5
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	服作りに関するさらなる知識・技術の習得と、オリジナリティあふれる作品制作。						
学習到達 目標	オリジナル作品を制作する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～9			型紙作成、トワル組み立て、修正、縫い代付け				
10～33	パンフレット作品(40コマ)		裁断・縫製				
34～40			スタイリング、撮影				
41～45			型紙作成、トワル組み立て・修正・縫い代付け				
46～73	オートクチュール作品制作(35コマ)		裁断・縫製				
74～75			スタイリング、撮影				
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品のデザイン性30%、縫製技術20%、完成度30%、スピード20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。						

授業科目	クリエイションデザインⅡ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大木 美代子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	商業デザインの構造を考えた、商品企画を自身の視点で表現する。						
学習到達 目標	機能性や生産性も含めた、リアリティのあるデザインができるようになる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 アパレルメーカーにてデザイナーの経験					
コマ割							
1	商品企画とは	アパレル業界の構造を知る 企業リサーチの仕方					
2~7	商品企画実践①	ターゲットブランドの選定 リサーチシート作成 イメージコラージュ					
	商品企画実践①	デザインと商品展開 マテリアル選定 発表					
8~14	商品企画実践②	ターゲットブランドの選定 リサーチシート作成 イメージコラージュ					
	商品企画実践②	デザインと商品展開 マテリアル選定 発表					
15~21	商品企画実践③	ターゲットブランドの選定 リサーチシート作成 イメージコラージュ					
	商品企画実践③	デザインと商品展開 マテリアル選定 発表					
22~27	商品企画実践④	ターゲットブランドの選定 リサーチシート作成 イメージコラージュ					
	商品企画実践④	デザインと商品展開 マテリアル選定 発表					
28~30	総合デザイン	BOOKのまとめ					
使用テキスト 教材・教具	PC、コピックチャオ、色鉛筆、水性顔料ペン、クリアファイル						
参考図書 参考文献	生地辞典:株式会社みずしま加工、テキスタイル用語辞典						
成績評価の 方法・基準	発想力30%、企画力40%、デザイン力30%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	舞台衣装Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	川上 須賀代			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	舞台衣装デザインに必要な表現力と発想力を身につけ、機能的な衣装制作を目指す。						
学習到達 目標	自ら課題を発見し、解決に導く力、想像力、発想力、表現力を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 コスチュームクリエイターとして活動している教員が、基礎的な舞台衣装制作の知識と技術を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	衣装パターン①						使用素材の確認・修正パターン作成
3～4	トワルチェック						最終トワルチェック
5～6	パターン修正						修正パターン作成
7～8	裁断						使用生地のカット、芯貼り
9～13	制作						衣装制作
14	最終フィッティング						衣装フィッティング
15	最終確認						修正、納品に向けて仕上げ
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題80%(縫製、完成度)、プレゼンテーション20%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキングⅣ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	野口 陽子		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科	
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、デザイン表現技術の修得を目指す。					
学習到達 目標	基本型からの応用ができ、パターンからトワルを組み、立体の確認をすることができる。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 パタンナーとして実務経験のある教員が、「今」のファッションを表現するパターンテクニックと型紙の制作方法を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～2	Tシャツ製図	サンプルを採寸しパターン制作				
3～4	実寸組立て	カットソー裁断、ミシン縫製				
5～7	スカートのバリエーション	マーメードスカート、プリーツスカート、ヨークドスカート、エンパイアスカート				
8～9	トワルによる実寸組立て	トワル裁断、ピンワーク(スカートバリエーションから1点選ぶ)				
10	検討会	スカートバリエーションの立体を確認				
11～12	身頃続きの袖	三角マチ、ひし形マチ、五角マチ(縮尺製図)				
13～14	トワルによる組立て	トワル裁断、ミシン縫製(1型選ぶ)				
15～16	メンズシャツ製図	台襟付きシャツカラー、シャツスリーブ				
17～18	メンズシャツ製図	パーツパターン抜き出し				
19～20	メンズシャツ製図	工業用パターン、仕様書作成				
21～22	トワルによる実寸組立て	トワル裁断、ピンワーク				
23～24	ファッション3Dモデリング 導入	ファッション3Dモデリングの基本操作説明				
25～28	ファッション3Dモデリング 基礎	3D画面で立体でパターンを作成				
29～30	テスト	修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	配布プリント、パターンメイキングⅠ 他2冊、ドレメオリジナル原型 1/5 他 約11点					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考						

授業科目	卒業研究Ⅱ			時間数 (コマ数)	150 (75)	単位数	5
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビューティ研究科		
授業科目の テーマと目的	これまでの学生生活の集大成となる作品を創り、作品集とポートフォリオに残す。						
学習到達 目標	松山コレクションで作品発表。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多 種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	卒業制作(3体以上)	デザイン考案					
3～7	〃	パターン、仮縫い準備、審査会					
8～73	〃	修正、本縫い、仕上げ					
74～75	〃	まとめ、スタイリング					
使用テキスト 教材・教具	布、副資材他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	デザイン20%、パターン20%、縫製60%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							